

横浜沖でイシモチ釣り

建国60周年記念沖釣り大会

新中国建国60周年を記念して東京華僑総会の華僑釣り倶楽部（徐道徳代表）が主催した「華僑沖釣り大会」が快晴に恵まれた十月十八日催行された。

大会は横浜市金沢八景

「鴨下丸」からの仕立て

出船で、水深20メートル前後の横浜沖を中心とする海域

でのイシモチ狙いで行われ、十二名が参加した。

大会の対象魚となったイシモチは白身でクセがなく、身の軟かい美味な魚として人気がある。

参加者たちは海上から

ベイブリッジやランドマークタワー、海釣り公園などの景観を視界に入しながら、のんびりと糸を垂らし、イシモチ釣りを楽しんだ。

当日の潮まわりは大潮で、午前10時41分の潮止まりの前後を除いて魚の活性が高く、午後2時半の沖上がりまでにトップで26匹、スズで11匹とまずまずの釣果があった。

午後3時すぎ、船宿に帰着後、表彰式が行われ、各賞該当者に東京華僑総会より賞品が贈られた。

審査の結果、26匹をゲットした劉光智さんに竿頭賞が、31・5センチの大型イシモチをものにした黄存仁さんに大物賞が、外道ながら37・5センチのみことなアジを釣り上げた斉藤文夫さんに外道大物賞が、廖雅彦さんにブルービー賞がそれぞれ贈られることが決定し、徐道徳代表より各受賞者に授与された。



船宿「鴨下丸」前で沖釣り会参加者が記念撮影